

電車どおり



ホームページ
はこちら

リ
ニ
ュ
ー
ア
ル
さ
れ
た
検
診
車

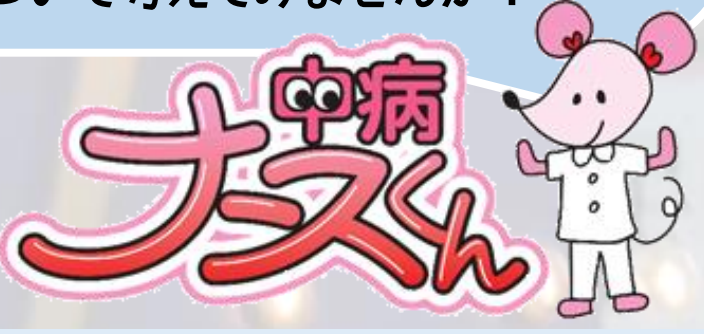
今月の表紙



もくじ

1. 検診車がリニューアルされました	・・・ 2p
2. 久しぶりのワッショイはこだて参加	・・・ 2p
3. 甲状腺眼症	・・・ 3p
4. 健康管理センターからのお知らせ ～各種健診 Web申し込み24時間受付中～	・・・ 4p

9月1日は防災の日。9月は防災月間。
1923年9月1日の関東大震災および
1959年9月の伊勢湾台風を教訓に1960
年に制定されたそうです。
大地震では2024年1月1日の能登半島
地震が記憶に新しいところですが、台風
や線状降水帯による大水害は毎年のよ
うに発生しています。
常日頃防災意識を高く保つことは難し
いですが、9月は普段よりも具体的に防
災について考えてみませんか？



基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

- 【患者さまの権利】
- ・安全で良質の医療を平等に受ける権利
 - ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
 - ・セカンドオピニオンを求める権利
 - ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
 - ・個人のプライバシーが守られる権利
 - ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利
- 【患者さまの義務】
- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
 - ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に務める義務
 - ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
 - ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
 - ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務

1. 検診車がリニューアルされました

この度、巡回健診で使用する検診車が17年振りにリニューアルされました。

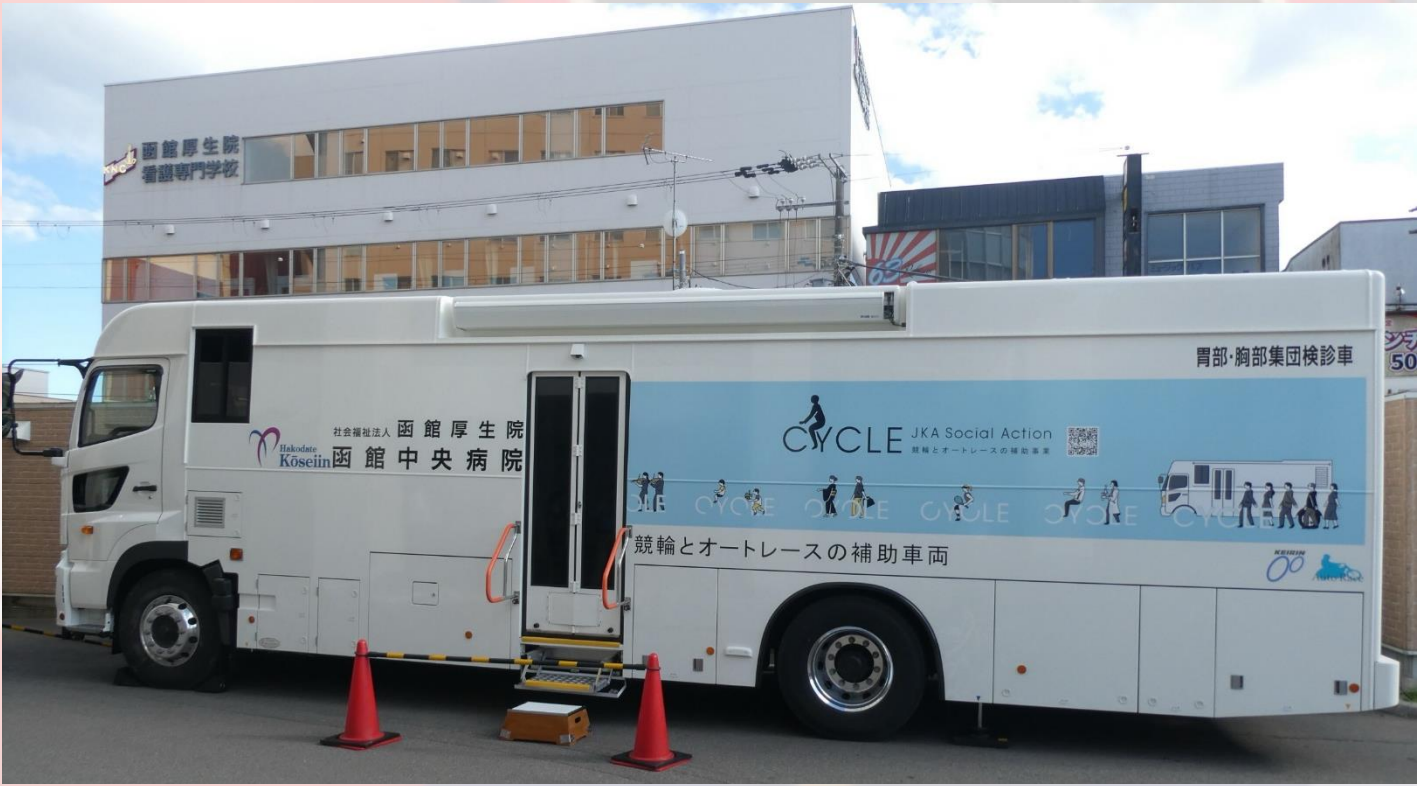
今回のリニューアルは公益財団法人JKAさんの『競輪とオートレースの補助事業』を活用させていただいたものです。



リニューアルに伴い、車両が大型化され、胸部レントゲンとバリウム検査の同時進行が可能となり、受診者さんの待ち時間短縮にもつながります。

また、近年目まぐるしい進歩を遂げる車の安全機能は当然新車両にも搭載されており、以前の検診車に比べて安全性が格段に向上しました。

巡回健診は50名様以上の受診者がいる企業さん向けの健診や自治体住民健診を対象に実施しており、年間実施事業所数約340社（函館市内約260社、市外道南圏約80社）となっております。巡回健診をご検討されている方はお気軽に当院・健康管理センターまでご連絡ください。



2. 久しぶりのワッショイはこだて参加



8月3日(日)のワッショイはこだて千代台・五稜郭コースに函館厚生院として参加いたしました。

函館厚生院は約900名が参加し、そのうち当院からは約200名が参加いたしました。

当日は沿道からたくさんの声援をいただき、特に当院の前を通過した際にはより大きな声援をいただきました。ありがとうございました。

3. 甲状腺眼症



眼科 科長
相原 佑亮

甲状腺は、喉もとけの下にあり、新陳代謝や自律神経のコントロールに必要な甲状腺ホルモンを分泌している臓器です。免疫の異常によって、甲状腺ホルモンが過剰に分泌されて動悸、体重減少、指の震え、暑がり、多汗などの症状が生じる病気をバセドウ病、逆に甲状腺組織が徐々に破壊されて甲状腺ホルモンが作られにくくなっていく病気を橋本病といいます。こういった甲状腺の病気に伴って目の症状が生じるものを甲状腺眼症といいます。

甲状腺眼症では、上まぶたが腫れぼたくなってきて目が飛び出してきたり、眼球運動障害といって、目が上を向かない、内側に向かないなどの症状が生じます。目を動かしたときに痛みや違和感が生じたり、ものが二重に見えたり、白目が充血したり、目頭のピンク色の部分（涙丘）が腫れてきたりします。

甲状腺眼症は男性より女性のほうがやや多く、子供から高齢者まで発症することがありますが、40代と60代での発症が多いです。甲状腺の病気が見つかるより先に甲状腺眼症になることもありますので注意が必要です。また、たばこを吸うと甲状腺眼症の発症リスクが上がります。

甲状腺眼症が発症すると、前述の症状が出現して徐々に悪化していきます。そのまま放置すると、病気の程度にもよりますが、視神経が圧迫されたり、乾燥して黒目に穴が開いたりして、失明に至る場合もありますので、発症した場合は検査を行い、治療を検討します。検査は、通常の眼科診察や採血、必要に応じてMRI検査を行います。

治療ですが、病気の活動性が高いと判断されれば、まずはステロイド点滴治療を行ったり、放射線治療を併用するのが一般的でした。最近では、新薬であるテッペーザ点滴治療が2020年に米国で、2024年に日本で承認され、効果を上げています。

甲状腺眼症は、適切な治療を行っても発症前の状態まで戻るのが難しいことも多い病気です。気になる症状がありましたら、早めの眼科受診をしてください。

健康管理センターからのお知らせ

【脳ドック・人間ドック、各種健診】 Web申し込み
申し込みはスマホでWebから！ (24時間受付)



《オススメ検査のご案内！》

脳の健康診断 忘れていませんか？

脳ドック受診(MRI機器)で早期発見ができる脳疾患

脳梗塞	脳出血	脳萎縮	脳腫瘍	脳動脈瘤	など
-----	-----	-----	-----	------	----

<こんな方におすすめ！>

☒ 40歳以上	☒ 過度の飲酒習慣の方
☒ 近親者に脳卒中の方がいる方	☒ 喫煙している方
☒ 肥満の方	☒ 2～3年間脳ドックを受けていない方
☒ 高血圧・脂質異常症・糖尿病の治療をしている方	☒ 日頃からストレスを感じている方
	☒ 脂っこい味付けや、濃い食べ物が好きな方

脳ドックについての確認事項 《※必ずご確認ください。》

下記に該当する方は、検査を受けられない場合があります。

① 心臓ペースメーカーを使用している方	② 人工内耳を使用している方
③ 脳神経外科にて治療歴がある、経過観察中、治療中の方	④ 体重が130kg 以上の方
⑤ 妊娠の可能性のある方または妊娠14週以内の方	⑥ 閉所恐怖症の方

人間ドック、各種健診 実施しています！

日々の健康管理に是非当院健康管理センターをご利用ください！
各市町村のがん検診や、企業の健診にも対応しております！

当院の健診の詳細内容はコチラから確認！



《お問い合わせ》健康管理センター
☎ : 0138-52-1231(内線:2274) ✉ : kenkan@hakochu-hp.gr.jp